

パブリック・サービス研究分科会 9月 「業務委託と専門職」研究グループ報告書	
日時	2010年9月8日(水)～10日(金)
場所	山梨県石和(夏合宿)
記録	(昭和女子大学) 嶋崎
参加者	生澤佳奈子(獨協大学)、撰正弘(国立音楽大学)、加藤庸介(文化女子大学) 塩瀬雅博(女子栄養大学)、嶋崎尚代(昭和女子大学) (氏名五十音順)
欠席者	山田裕子(武蔵大学)、杉本正武(成城大学)

この合宿でグループ分けをした。

作業内容

- ①どのようなことが気にかかっているのかを各自発言し、それについて、意見を交換。
- ・「公共図書館職務区分表 2003年版」の大学図書館版を作成してみようか。
 - ・業務委託の現状把握をしたい。
 - ・アメリカの図書館員の専門性と日本の違いを知りたい。
 - ・日本の司書課程に疑問を感じる。(4年間勉強しても通信教育でも3か月集中講座でも同じ資格しかとれない。)
 - ・図書館に求められている専門性とはなにか。

- ②参考資料の提示。

- ③「公共図書館職務区分表 2003年版」について

この資料をもとに大学図書館の職務を明確化してみる。

そうすることで、次に、どの職務に専門性が必要なのかを分析する際に役立つと思われる。

早速、内容の確認をして、大学図書館用に作り変えるための見直し作業をおこなった。

*公共図書館独自の内容は削除する。

*大学図書館独自の内容は加える。

*項目名を大学図書館用に改める。

次回(10月例会)までの課題

- ・「公共図書館職務区分表 2003年版」の見直し作業(大学図書館用に内容を検討する)
- ・大学図書館の中でも規模の違いや、サービス内容の違いなどいろいろあるので、項目をどこまで広げるのか、またはどこまでとするのか、検討する必要がある。

12月までの作業

- ・参考資料を探し、読み、要旨をまとめ、記録を Google ドキュメントに載せる。
(参考資料の重複を避ける目的も含める)

その他

・業務委託の現状把握の方法はアンケートが考えられる。大々的にアンケートを実施する場合は私図協東地区研究会事務所の方に実施の申請などが必要となる。手続きが煩雑なので、パブリック・サービス研究分科会参加大学に呼び掛ける方法もある。

- ・10月からは成城大学図書館の杉本正武氏もこのグループに加わる予定。

(以上)